

平成29年度 相談支援事業所アップルメント事業報告  
(特定相談支援事業)

利用者とその家族との面談を行いながら問題点や支援の必要性、内容などを把握したうえで情報提供を行うことができました。障がい分野は身体、知的、精神を担当する分野が多くそれぞれ制度が違うことや高齢者まで（介護保険ではなく）年齢層の幅も広くその都度、対応しながら利用者にあったサービス等利用計画の作成を行うように努めた。利用者の家族の年齢の幅が広く利用者の高齢化とともに両親の高齢化も進んでおり、親亡き後のことに危惧する両親の声も面談を通して多く聞かれる。入所施設の相談や申し込みについても相談に応じることが多くなった。入所施設は待機待ちが多くスムーズにサービス利用に繋げないことも多々あり、利用者の望む生活に沿うことができないこともあった。相談件数も緩やかだが件数も増えている。

I、事業内容（平成29年度）

- 1、職員数 管理者1名（兼務） 相談支援専門員2名（専従1名 兼務1名）  
事務員1名（兼務）

2、利用者数

	計画相談	モニタリング
4月	7件（内部：3 外部：4）	11件（内部：3 外部：6）
5月	12件（内部：6 外部：6）	7件（内部：5 外部：2）
6月	7件（内部：5 外部：2）	12件（内部：4 外部：8）
7月	7件（内部：5 外部：2）	20件（内部：9 外部：11）
8月	9件（内部：4 外部：5）	21件（内部：8 外部：13）
9月	4件（内部：1 外部：3）	11件（内部：6 外部：5）
10月	8件（内部：4 外部：4）	13件（内部：2 外部：11）
11月	4件（内部：4 外部：0）	14件（内部：7 外部：7）
12月	8件（内部：4 外部：4）	11件（内部：7 外部：4）
1月	16件（内部：7 外部：9）	11件（内部：6 外部：5）
2月	11件（内部：5 外部：6）	14件（内部：6 外部：8）
3月	4件（内部：4 外部：0）	12件（内部：6 外部：6）

II、重点取り組み状況（結果）

1、サービス等利用計画の作成

アセスメントを行い、利用者の状況を把握したうえで、本人のおよび家族の望む生活に合わせたサービス等利用計画の作成に努めた。

サービス等利用計画については、利用者、家族の意向に沿う形で作成できた。

## 2、信頼関係に立った人間関係

訪問や面会を繰り返すことで利用者との意思疎通を図り、家族の思いにも耳を傾けながら聞き取りを行い、利用者やその家族などとの面談時には信頼関係の構築に努めた。結果、アップルミントを利用している利用者が多いことなどで早期の段階で関係性を築くことができた。

## 3、事業所との連携の強化

新規の利用者については他の事業所の閉鎖に伴い、事業所からの紹介があり 10 数名の増加となった。また、行政やほかの相談支援専門員との意見交換の場に参加することでサービス事業者同士の情報交換ができ、知り得た情報をもとに利用者とのマッチングを行っていくことができた。

## 3、相談支援業務の今後

障がい者の高齢化する中で介護保険への移行など地域包括支援センターとの連携を密に行うことが必要である。

また、利用者のニーズに応えるサービス自体の不足と適したサービス提供をするためには支援員の持つ情報不足やそれに加え、社会資源の環境不足がある。

計画相談において生きがいのある暮らしに向け地域の関係者や行政などの繋がりを大切にしていくことが大事と考える。